

PCR検査拡大による無症状感染者の保護が決め手

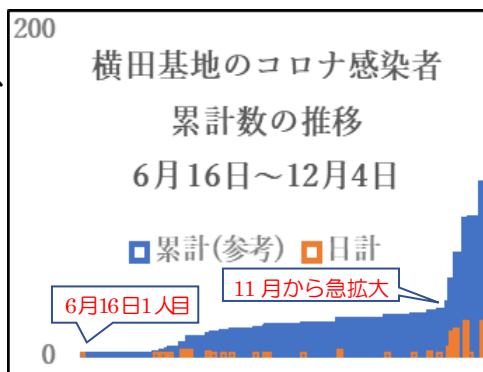
新型コロナウイルス感染症の拡大が止まりません。福生市はこれまでに、国や東京都のコロナ関連の補助金を活用して、感染拡大防止策、生活対策、子育て支援策、教育対策、事業者支援策など60余の事業を行っています。しかし、PCR検査の対象を国も市も濃厚接触者に絞っているため、感染者の数は下表のように一向に収束せず、11月からは、Go To トラベル、GO To イートなどの政策もあって急拡大してしまいました。無症状の感染者が自分でも知らないうちに感染を広げてしまっていることが大きな原因になっていると思います。現在では、家庭内感染が全体の4割を超える深刻な状況で、子どもや高齢者にまで広がっています。

だからこそ、今こそ、福生市でも無症状の感染者を早く見つけ、保護することが肝心です。そのためには、PCR検査の思い切った拡大が必要です。希望する市民全員を対象に、唾液検査やプール検査等を活用すれば、検査機関の手間軽減と低予算・短期間での実施が可能です。

また、発熱専門外来を設置し、市中病院の負担軽減と感染拡大リスクを軽減することも必要です。国が消極的な対策に終始している今、自治体の独自策が求められています。

プール方式とは

複数の人の検体を混ぜてPCR検査を行います。陽性反応が出たグループについて、保存しておいた個々の検体を再検査します。その地域の陽性率が低いときほど、再検査が必要なグループは少なくなり、全体として検査数、経費、時間を軽減できます。



日本共産党 福生市議会議員
池田 公三
いけだ こうぞう

がご相談に応じます。

日時は、お電話いただければ、調整いたします。



なんでも生活相談

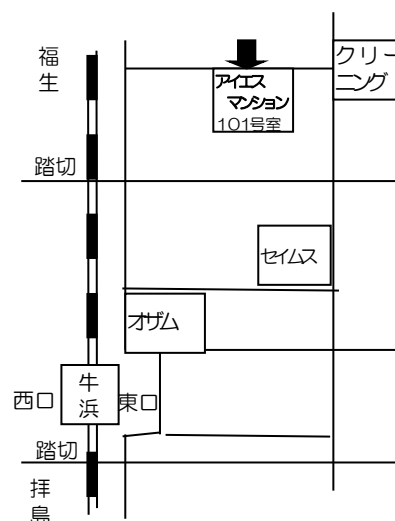
1月のなんでも生活相談会のお知らせです。困っているのに、誰にも相談できずにいる方はいらっしゃいませんか。どうぞお気軽にご相談ください。

日時 1月12日(火) 午後7時から

場所 池田公三事務所 (駐車場あります)

福生市志茂115 アイエスマンション101号室

TEL 042-530-0705



日本共産党福生市委員会は池田公三さんの活動について発表しました

福生民報

発行 2020年12月号外
日本共産党福生市委員会
責任者 太田
福生市志茂 115 101号室